

コンベックス耐寒試験

試験場所 北海道旭川市近郊 屋外

試験期間 平成14年11月～平成15年2月

目的 摂氏マイナス20数度になることもある日本国内で有名な、低気温・低湿度の場所で、コンベックスが使用可能であるかを検証する。

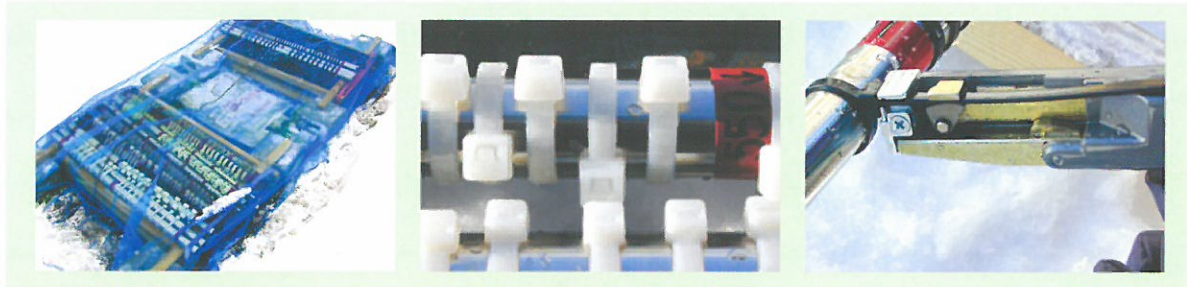
試験方法 1. 未開封のコンベックスを袋のまま試験場所に放置し、開封直後に結束を行う。
2. コンベックスをあらかじめステンレスパイプに結束した状態で試験場所に放置し、その後の状態を確認する。

試験結果 寒冷地での結束作業に問題はありません。

氷点下の結束作業では低気温・低湿度の為コンベックスが硬くなり、ループを作りづらい点はありましたが、破断等は起こりませんでした。

寒冷地において、11月～2月まで結束物を観察したところ破断等は皆無でした。

寒冷地で気温が特に低下する期間に継続して結束サンプルを確認したところ、全てのサンプルに破断等は起こりませんでした。



コンベックス、コンベックスベース低温試験

設置場所 摂氏マイナス45℃の冷凍倉庫内

設置期間 平成15年7月～平成15年10月

目的 冷凍倉庫・冷凍車など極寒状態の場所で、コンベックス及びコンベックスベースが使用可能であるかを検証する。

試験方法 1. 未開封のコンベックスを袋のまま試験場所に放置し、開封直後に結束を行う。
2. コンベックスをあらかじめステンレスパイプに結束した状態で試験場所に放置し、その後の状態を確認する。
3. コンベックスベースをあらかじめステンレス板に貼り付けて試験場所に放置し、その後の状態を確認する。

試験結果 結束作業時に破断は発生しませんでした。

冷凍倉庫内で結束した場合と冷凍倉庫から搬出直後に結束した場合の結果は、コンベックスに硬さを感じるもののループを作った際にも結束工具CT-Vを使用した締付け及び切断を行った際にも破断等は起こりませんでした。

3ヶ月経過後もコンベックスは結束状態を維持可能。

常温で結束後に冷凍倉庫で3ヶ月放置した結果、コンベックスの外観の変化、ゆるみや外れ、破断等は起こりませんでした。

3ヶ月経過後もコンベックスベースの貼り付け状態に異常はありませんでした。

常温でコンベックスベースをステンレス板に貼り付けて冷凍倉庫に3ヶ月放置した結果、外観の変化、ずれや外れ、破壊等は起こりませんでした。



(注)耐寒試験及び低温試験の結果は試験時の実測データであり、製品をご使用いただく際の目安としてご覧いただくものであり保証値ではありません。
なお、耐寒試験及び低温試験の詳細な結果は、別紙資料がありますのでご請求下さい。